



2010年3月期 決算説明会

株式会社 T&K TOKA

2010年5月13日

# 目次

I . 10.3期業績と11.3期予想

II . 市場環境と当社の取組み

# 会社概要

- 社名 株式会社T&K TOKA
- 本社 東京都板橋区泉町20-4
- 代表者 代表取締役社長:増田至克
- 設立 1949年(昭和24年)12月、東京都板橋区に設立
- 事業内容
  - ・ 事業内容:紫外線硬化型インキ(UVインキ)やオフセットインキ、グラビアインキ等の印刷用インキや特殊インキの製造販売、印刷関連機材、印刷機械などの販売
  - ・ 合成樹脂、同原材料の製造販売、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業
- 資本金 2,060百万円
- 連結子会社 印刷インキ関連の国内子会社のほか、アジアを中心とした海外展開を強化しており、インドネシアや韓国、中国、バングラディッシュに生産及び販売を目的とした現地法人を展開  
国内連結子会社4社、海外連結子会社7社、海外持分方適用会社1社
- 従業員数 連結1,468人(178人)、単体559人(43人)  
(2010.3月期末、()は臨時雇用者数の年間平均外数)

# I . 10.3期業績と11.3期予想

# 2010年3月期の実績

## ▶ 連結損益計算書(百万円)

	09.3期	10.3期	増減額	増減率	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	予想(期初)	差額	達成率	1Q修正	2Q修正
売上高	41,707	44,626	2,918	7.0 %	10,063	11,131	11,329	12,100	43,510	1,116	2.6 %	—	43,700
売上原価	33,184	34,366	1,182	3.6 %	7,853	8,504	8,544	9,464	34,410	▲43	▲0.1%	—	—
	( 79.6%)	( 77.0 %)	(▲2.6 %)		( 78.0%)	( 76.4%)	( 75.4%)	( 78.2%)	( 79.1%)	(▲2.1 %)		—	—
売上総利益	8,523	10,259	1,736	20.4 %	2,210	2,627	2,785	2,636	9,100	1,159	12.7%	—	—
	( 20.4%)	( 23.0 %)	( 2.6 %)		( 22.0%)	( 23.6%)	( 24.6%)	( 21.8%)	( 20.9%)	( 2.1 %)		—	—
販管費	6,918	6,992	74	1.1 %	1,708	1,752	1,675	1,855	6,820	172	2.5 %	—	—
	( 16.6 %)	( 15.7 %)	(▲0.9 %)		( 17.0%)	( 15.7%)	( 14.8%)	( 15.3%)	( 15.7%)	( 0%)		—	—
営業利益	1,605	3,266	1,661	103.5 %	501	874	1,109	780	2,280	986	43.3 %	—	2,650
	( 3.8 %)	( 7.3 %)	( 3.5 %)		( 5.0%)	( 7.9%)	( 9.8%)	( 6.5%)	( 5.2%)	( 2.1 %)		—	( 6.1%)
経常利益	1,332	3,540	2,207	165.7 %	614	903	1,105	917	2,420	1,120	46.3 %	—	2,850
	( 3.2 %)	( 7.9 %)	( 4.7 %)		( 6.1%)	( 8.1%)	( 9.8%)	( 7.6%)	( 5.6%)	( 2.3 %)		—	( 6.5%)
当期利益	▲201	4,290	4,492	—	435	2,618	563	672	1,660	2,630	158.5%	4,200	3,840
	( ▲0.5 %)	( 9.6 %)	—		( 4.3%)	( 23.5%)	( 5.0%)	( 5.6%)	( 3.8%)	( 5.8 %)		( 9.7%)	( 8.8%)

## ▶ 連結製品別売上高(百万円)

	09.3期	10.3期	増減額	増減率	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	予想(期初)	差額	達成率		
平版インキ	14,476	15,254	777	5.4 %	3,328	3,906	3,924	4,094	15,290	▲35	▲0.2 %		
UVインキ	16,384	18,427	2,043	12.5 %	4,104	4,507	4,630	5,185	16,860	1,567	9.3 %		
その他インキ	3,459	3,591	132	3.8 %	806	934	886	963	3,650	▲58	▲1.6 %		
その他	3,511	3,568	56	1.6 %	850	837	996	884	3,740	▲171	▲4.6 %		
インキ計	37,832	40,841	3,009	8.0 %	9,089	10,186	10,437	11,127	39,540	1,301	3.3 %		
商品	3,875	3,784	▲90	▲2.3 %	973	945	892	973	3,970	▲185	▲4.7%		
総計	41,707	44,626	2,918	7.0 %	10,063	11,131	11,329	12,100	43,510	1,116	2.6 %		

# 連結貸借対照表、キャッシュフロー計算書

貸借対照表	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	増減額	増減率	備考
流動資産	27,022	28,103	24,969	27,218	2,248	9.0 %	
現金及び預金	5,277	5,615	4,514	4,495	▲18	▲0.4 %	
受取手形・売掛金	15,534	15,441	13,661	15,888	2,226	16.3 %	
棚卸資産	5,767	6,294	5,764	6,159	395	6.9 %	
その他流動資産	442	752	1,029	675	▲353	▲34.4 %	
固定資産	20,609	21,160	19,991	20,115	123	0.6 %	
有形固定資産	16,984	17,641	16,809	17,099	289	1.7 %	
無形固定資産	156	176	162	178	15	9.5 %	
投資その他の資産	3,469	3,342	3,019	2,837	▲181	▲6.0 %	
資産合計	47,632	49,264	44,961	47,333	2,372	5.3 %	
流動負債	18,098	18,015	17,006	14,337	▲2,668	▲15.7 %	
支払手形・買掛金	9,052	9,112	8,034	9,491	1,457	18.1 %	
短期借入金	6,554	4,534	6,008	1,959	▲4,048	▲67.4 %	
1年内償還の社債	—	10	10	10	0	0.0 %	
固定負債	1,529	1,325	1,447	1,872	424	29.3 %	
社債	50	30	20	10	▲10	▲50.0 %	
長期借入金	123	146	65	94	29	44.5 %	
退職給付引当金	735	656	686	825	139	20.3 %	
役員退職慰労引当金	502	372	427	179	▲248	▲58.0 %	
負債合計	19,627	19,340	18,454	16,210	▲2,243	▲12.2 %	
純資産合計	28,004	29,924	26,507	31,123	4,616	17.4 %	
負債・純資産合計	47,632	49,264	44,961	47,333	2,372	5.3 %	

キャッシュフロー	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	増減額	増減率	備考
営業CF	2,977	3,644	1,183	5,011	3,827	323.4 %	
投資CF	▲2,990	▲701	▲2,159	▲731	1,428	—	
財務CF	▲625	▲2,447	1,210	▲4,529	▲5,739	—	
CF期末残高	4,372	4,728	3,628	3,682	53	1.5 %	

# 2010年3月期の実績と成果

## 2010年3月期の実績

### ■ 売上高・・・446億26百万円 +7.0%

為替換算時の円転換額で8億7百万円増加

特殊UVインキの増加

➤ 平版インキ・・・152億54百万円 +5.4%

➤ UVインキ・・・184億27百万円 +12.5%

(内訳) 一般UVインキ +5.7%

特殊UVインキ +35.6%

### ■ 売上原価率・・・△2.6%

高付加価値製品の売上増加

原材料価格の低減(原油価格が低位安定)

### ■ 特別利益・・・33億64百万円

チマニートオカ為替差益 7億58百万円(前期15億27百万円の為替差損)

チマニートオカ土地売却益 8億63百万円

杭華油墨移転補償金 16億26百万円

# 2011年3月期の予想

## ▶ 連結損益計算書(百万円)

	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期予	増減額	増減率	備考
売上高	43,987	45,059	41,707	44,626	46,620	1,993	4.5%	
売上原価	33,103	33,789	33,184	34,366	37,140	2,773	8.1%	
	( 75.3 %)	( 75.0 %)	( 79.6 %)	( 77.0%)	( 79.7%)	( 2.7%)		
売上総利益	10,883	11,270	8,523	10,259	9,480	▲779	▲7.6%	
	( 24.7 %)	( 25.0 %)	( 20.4 %)	( 23.0%)	( 20.3%)	(▲2.7%)		
販管費	6,756	7,130	6,918	6,992	6,800	▲192	▲2.8%	
	( 15.4 %)	( 15.8 %)	( 16.6 %)	( 15.7%)	( 14.6%)	(▲1.1%)		
営業利益	4,127	4,140	1,605	3,266	2,680	▲586	▲18.0%	
	( 9.4 %)	( 9.2 %)	( 3.8 %)	( 7.3%)	( 5.7%)	(▲1.6%)		
経常利益	4,147	4,140	1,332	3,540	2,660	▲880	▲24.9%	
	( 9.4 %)	( 9.2 %)	( 3.2 %)	( 7.9%)	( 5.7%)	(▲2.2%)		
当期利益	2,863	2,157	▲201	4,290	1,480	▲2,810	▲65.5%	
	( 6.5 %)	( 4.8 %)	(▲0.5 %)	( 9.6%)	( 3.2%)	(▲6.4%)		

## ▶ 連結製品別売上高(百万円)

	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期予	増減額	増減率	
平版インキ	15,082	15,506	14,476	15,254	15,485	230	1.5%	
UVインキ	18,150	17,933	16,384	18,427	20,125	1,697	9.2%	
その他インキ	3,486	3,790	3,459	3,591	3,590	▲1	▲0.0%	
その他	3,424	3,669	3,511	3,568	3,400	▲168	▲4.7%	
インキ計	40,144	40,900	37,832	40,841	42,600	1,758	4.3%	
商品	3,842	4,159	3,875	3,784	4,020	235	6.2%	
総計	43,987	45,059	41,707	44,626	46,620	1,993	4.5%	



# 2011年3月期の課題と施策

## 2011年3月期予想の前提

- 売上高……466億20百万円 4.5%の増収  
UVインキの拡販  
特殊UVインキの販売増加  
海外市場でのシェア拡大(特にアジア・欧米市場)
- 営業利益……26億80百万円 △18.0%の減益  
原油価格高騰の影響により原材料価格の値上げ  
減価償却費の増加
- 経常利益……26億60百万円 △24.9%の減益
- 当期純利益……14億80百万円 △65.5%の減益
- 配当金……上期・下期で各1株につき13円とし、年間26円を予定

# 設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

	05.3期	06.3期	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期予
設備投資	1,248	1,932	3,705	2,482	2,743	1,761	2,462
減価償却費	1,157	1,304	1,366	1,505	1,632	1,931	2,353
研究開発費	988	936	934	1,072	1,261	1,159	1,148

## 【10年3月期実績】

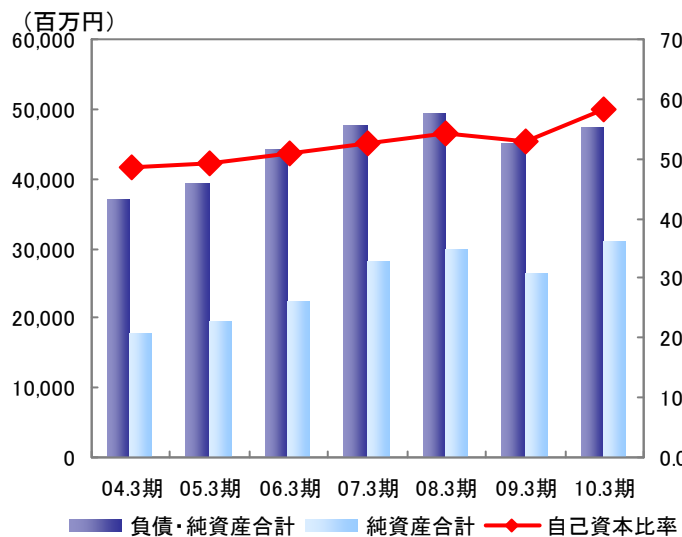
- 国内 … 15億円
  - 新UV工場 10.5億円(竣工・09/9月)
  - 埼玉工場生産設備 3.9億円
- 海外 … 3億

## 【11年3月期計画】

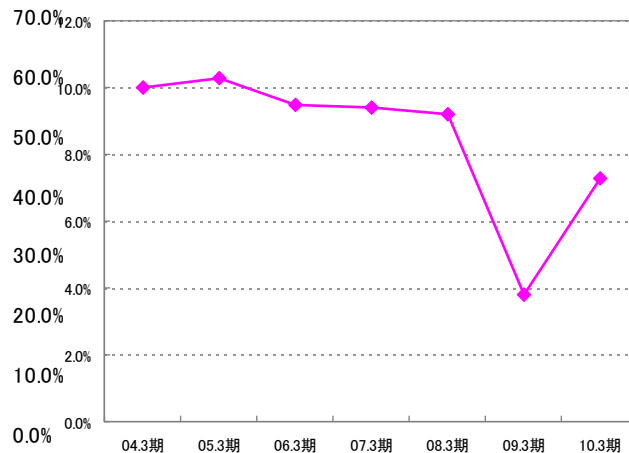
- 国内 … 19.4億円
  - 特殊UV生産設備 6.6億円
  - 埼玉工場生産設備 3.3億円
- 海外 … 5.2億円
  - 中国・杭華油墨 3億円
  - 韓国・KSI 1.7億円

# 経営指標

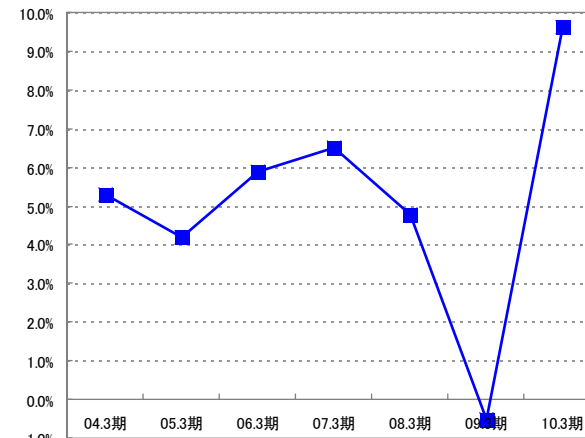
▶ 総資産、純資産、株主資本比率の推移(連結)



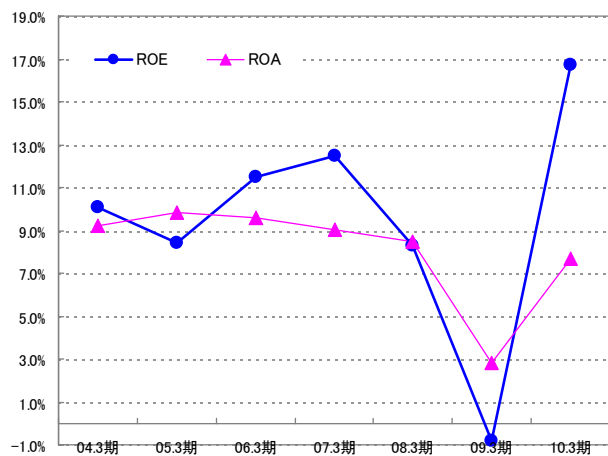
▶ 売上高営業利益率(連結)



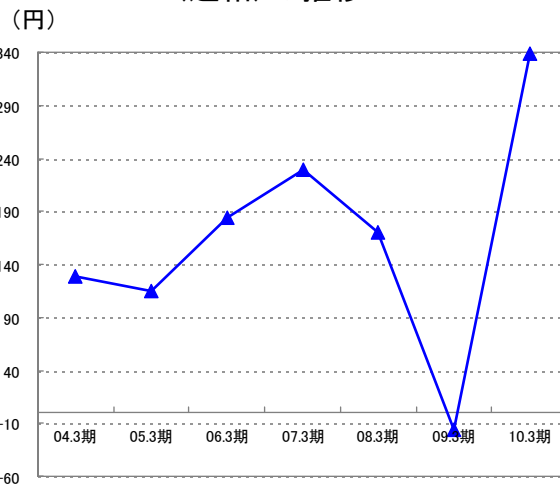
▶ 売上高当期利益率(連結)



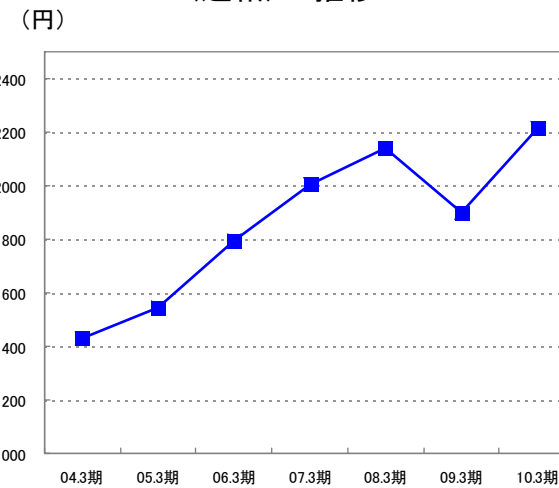
▶ ROE、ROAの推移(連結)



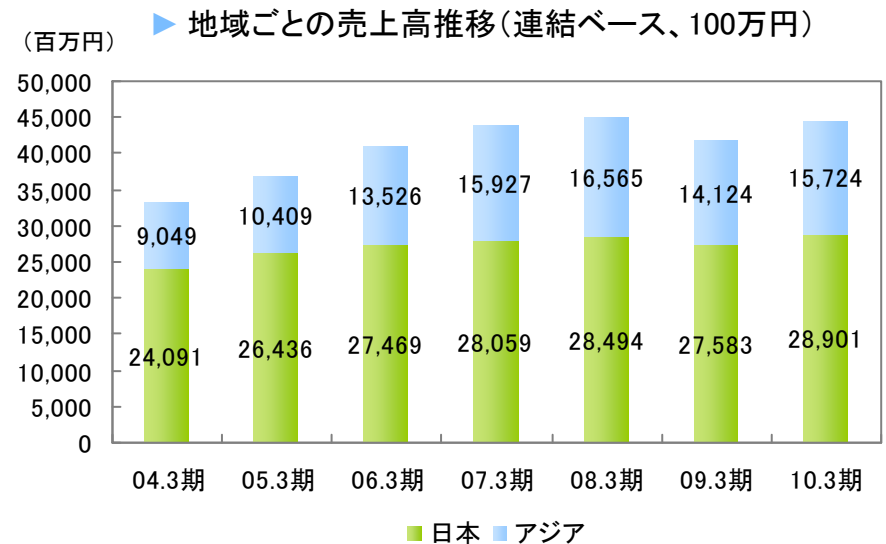
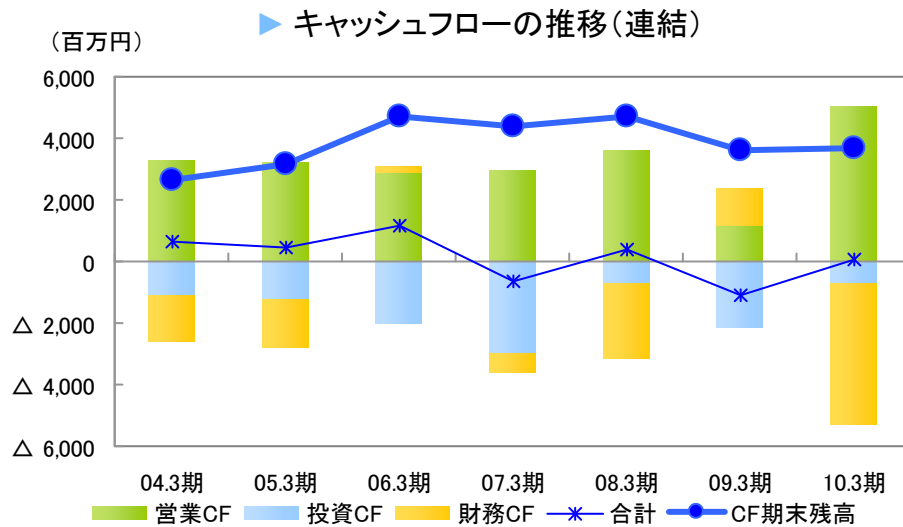
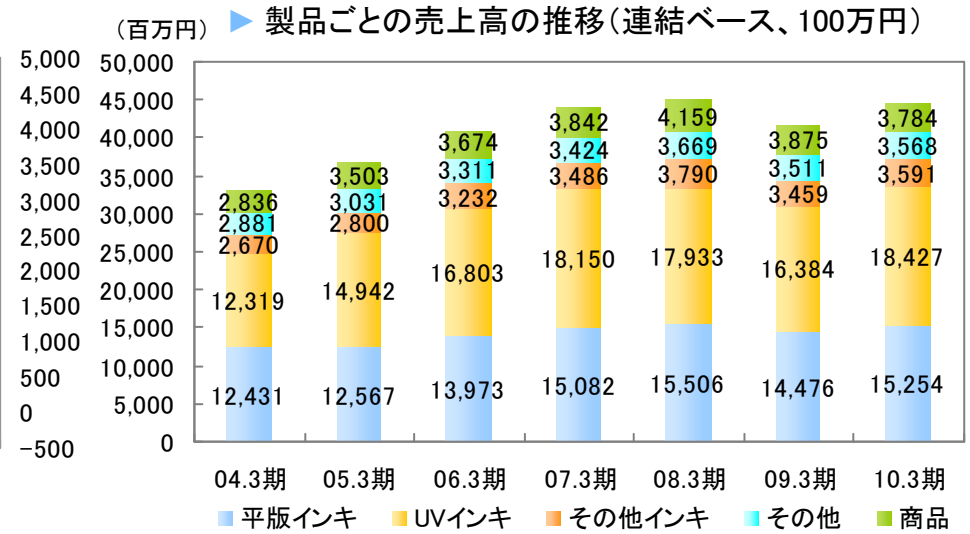
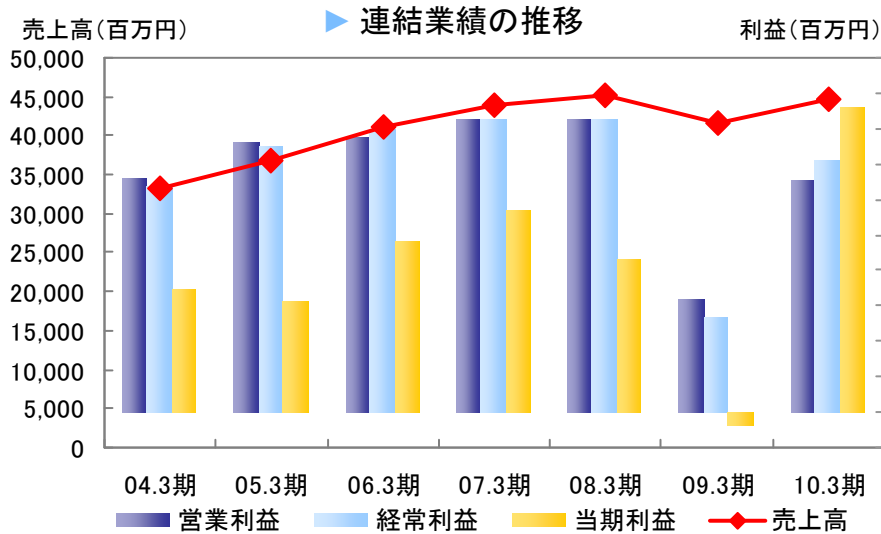
▶ EPS(連結)の推移



▶ BPS(連結)の推移



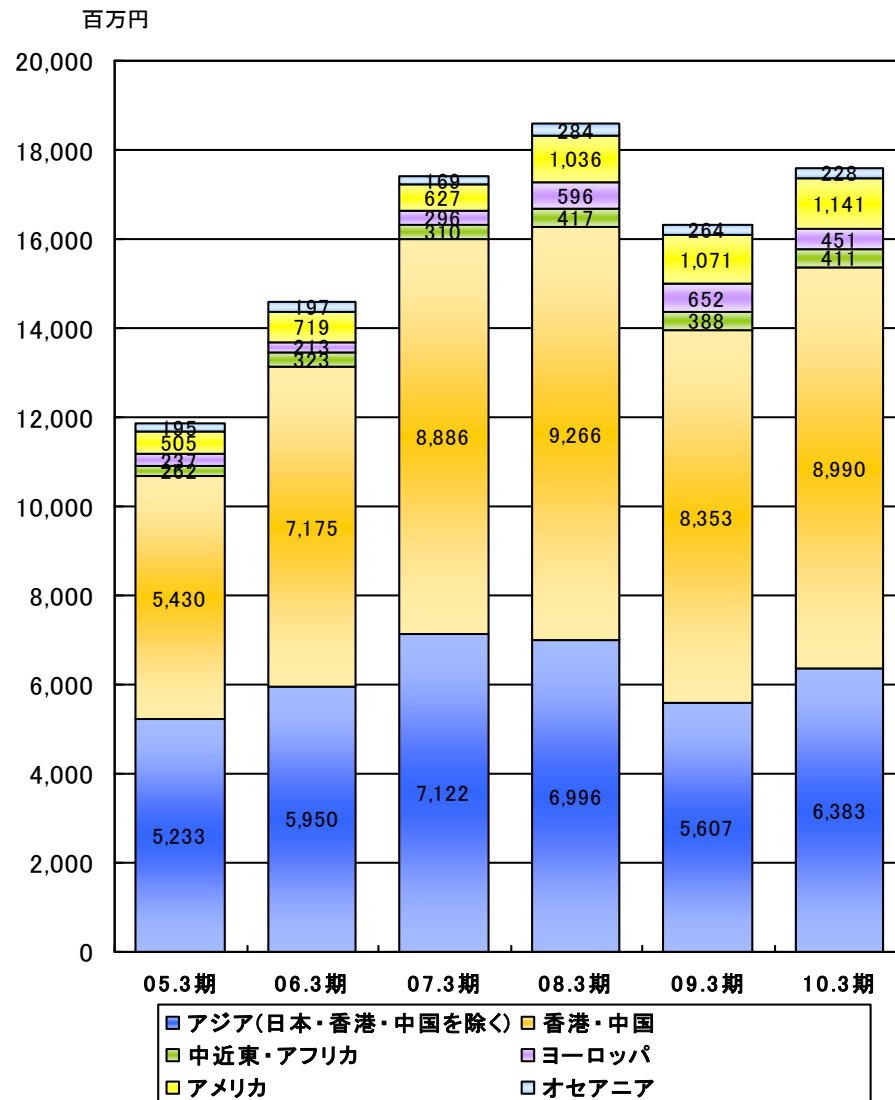
# 業績推移



## Ⅱ. 市場環境と当社の取組み

# 安定成長が続くアジア地域は、売り上げも堅調

## 海外売上高推移



- 多い人口、発展途上国、高成長率＝有望な市場

- 2008年のリーマンショック以後、売上、利益率共に落ち込むが、2009年は回復し高い成長率

＜売上高伸び率＞

アジア 13.8%

中国・香港 7.6%

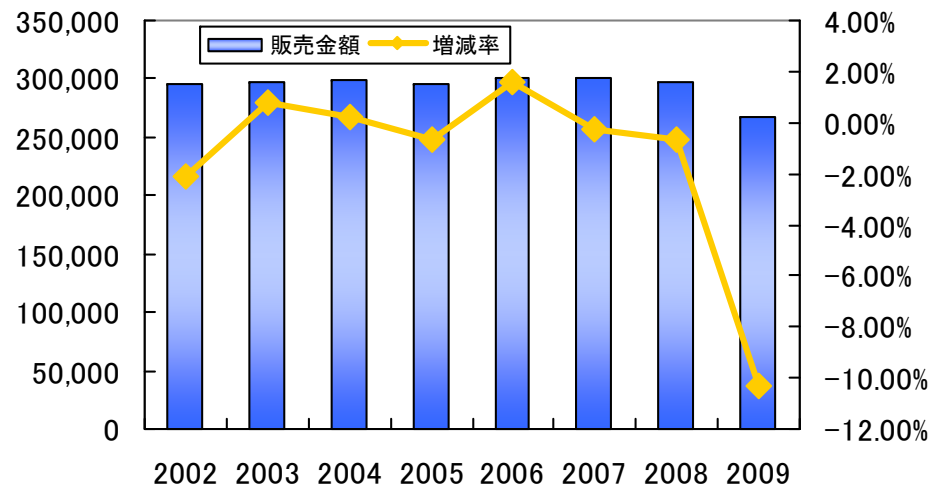
- 為替相場も昨年から現地通貨高に反転し、原材料の仕入れコストが低下

# 市場環境(国内インキ市場)

- 2008年リーマンショック以後、印刷インキ需要は激減
- 今後も、厳しい環境が続く
- 更に短納期、多品種・小ロット化が進んでいる

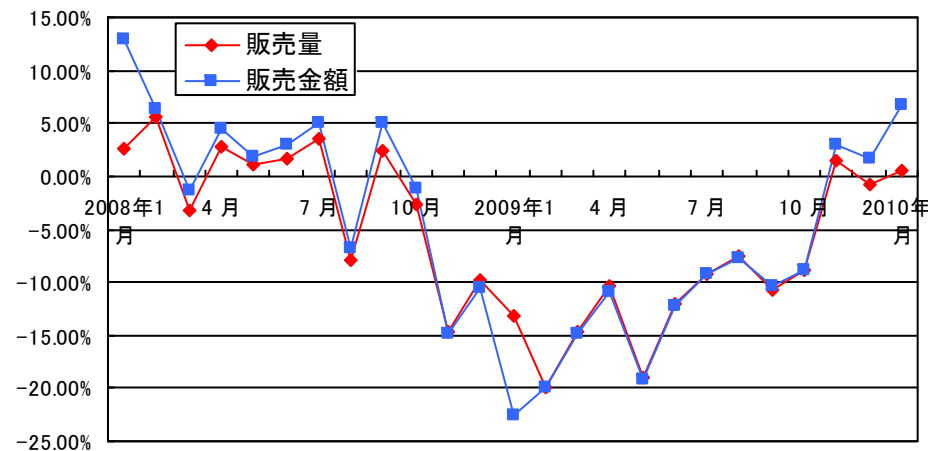
販売金額(百万)

国内インキ市場推移(暦年)



出所) 化学工業統計

国内インキ市場の推移(前年同月比)



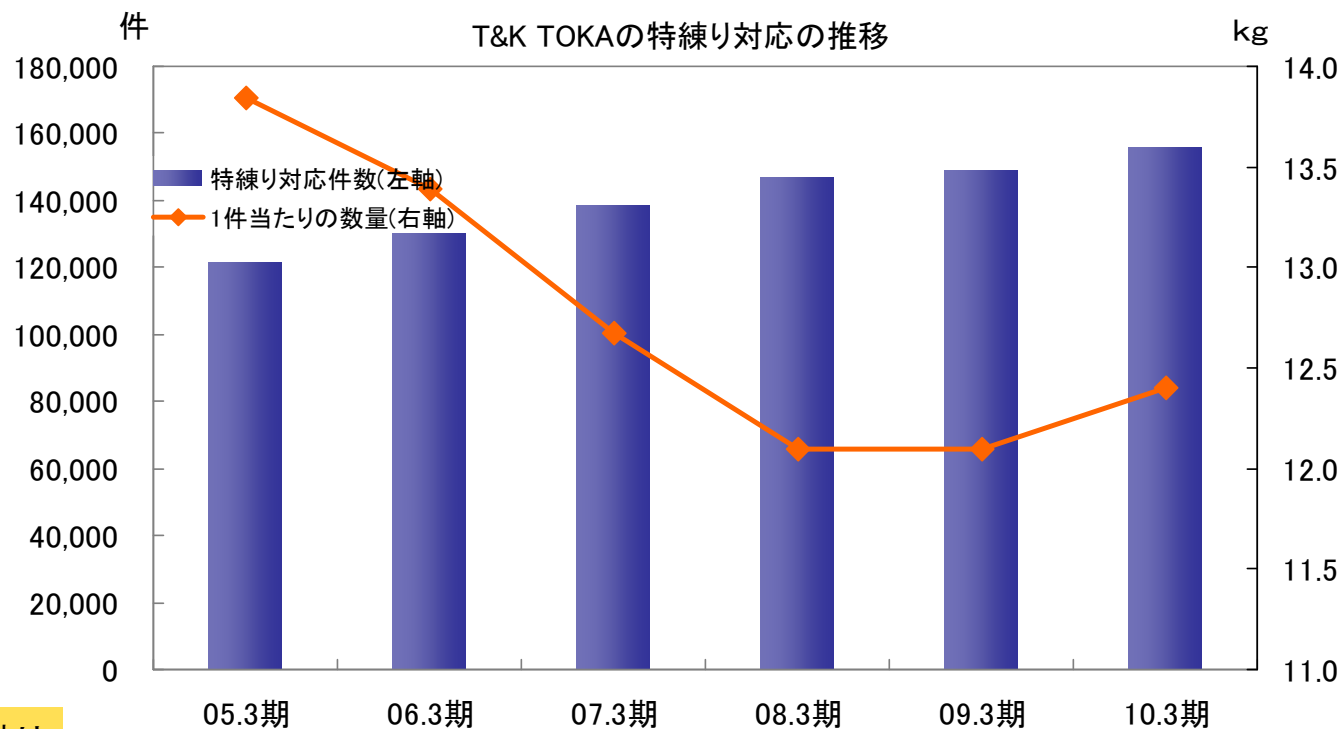
出所) 化学工業統計

# 発注単位の小ロット化が進んでいる

特練りの件数、数量ともに年々増加している



- 当社の重点特化分野に市場ニーズがシフト
- 小ロット・多品種でも採算あるシステムを確立



特練り

インキメーカーが用意する標準色以外で、顧客の要望に合わせて作る色、特色のインキを生産すること。



# 重点戦略

## 1) UVインキ市場の拡大

トップメーカーとして、先進的な製品開発や用途開拓により、  
UVインキ市場の拡大を牽引する

## 2) 海外市場でのシェア拡大

高品位・高付加価値市場はもとより、量でも勝負する大手と互角の戦い

## 3) 環境対応

製品のエコ対応化とカーボンフットプリントの積極対応を図る

## 4) 特殊UVインキ

液晶カラーフィルター向け等特殊UVインキの開発及び生産体制を確保

## 11.3期の重点課題

### 1) UVインキの拡販

UV照射による瞬間硬化性、強固な被膜特性を有し、ノンVOC  
環境対応、印刷効率に優れたインキ

### 2) 省電力型照射装置用のUVインキ

低消費電力で、コストや環境面でさまざまなメリットがある注目分野

### 3) 環境対応型インキ

水質汚濁防止法、新廃棄法等の法令遵守を始め、  
CO2削減効果など環境対応型インキとして世界的に注目されている

### 4) 海外市場へ積極的に展開

UVインキを始めとして、高品位・高品質のインキを全世界に供給する体制を築く

### 5) 特殊UVインキの研究及び生産体制の強化

増産が続く液晶カラーフィルター向け等特殊UVインキには、  
人材・設備とも積極投資を行う

## 11.3期の重点課題 UVインキの拡販へ

### 新用途を開拓

- 最新の印刷機を導入し、先進的な製品開発に取り組む
- 最新の生産設備導入により合理化追求、効率アップ
- 印刷用インキの範疇を超えた様々な分野にチャレンジ

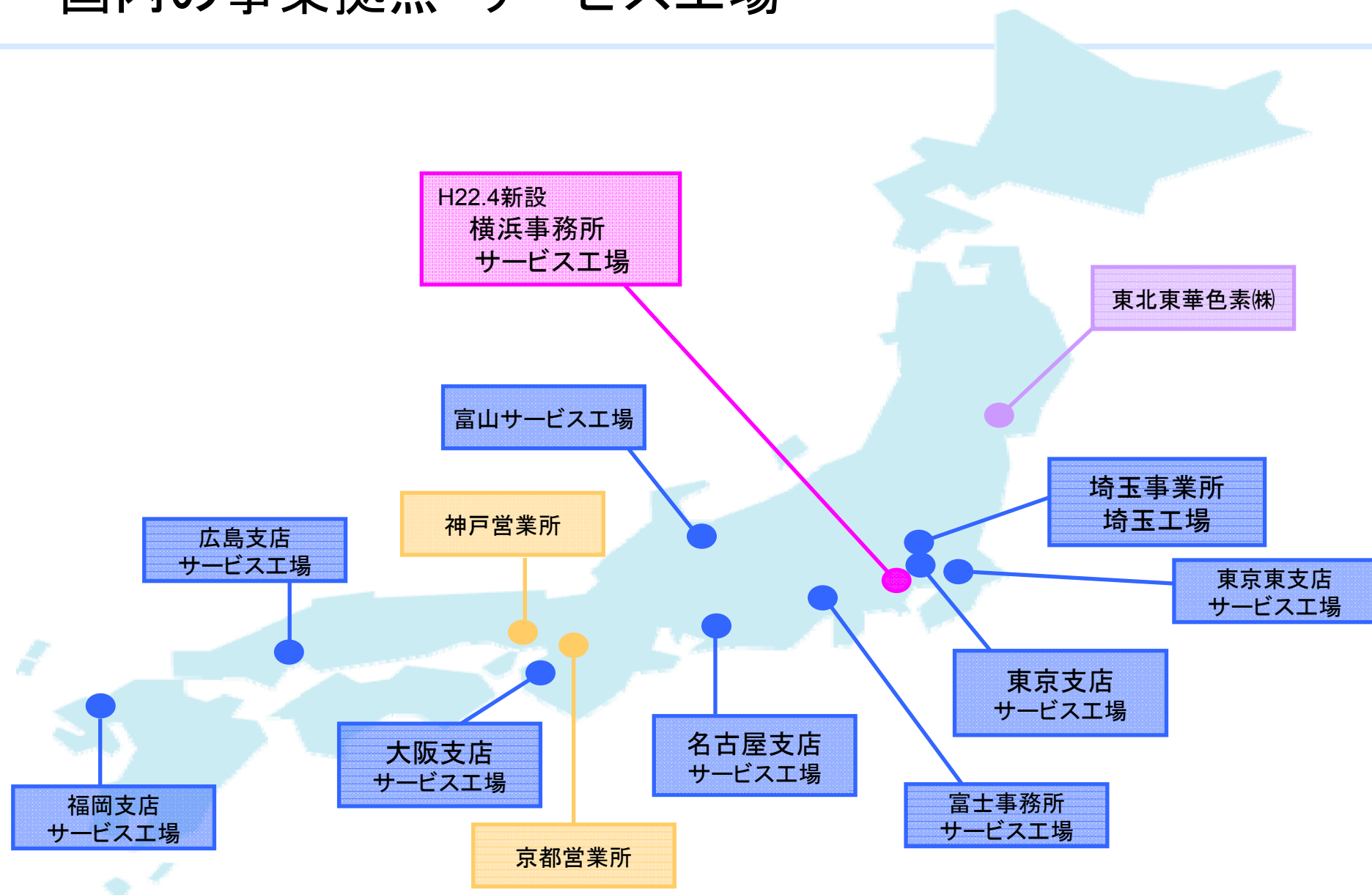
### 多品種・小ロット、即納体制の一層の強化

- 横浜営業所を新設 都西部・神奈川県のサービス体制を充実

提案型営業を強化し、国内は高付加価値市場を取っていく

印刷機や印刷関連メーカーとの戦略的パートナーシップによる新規顧客開拓

# 国内の事業拠点・サービス工場



## 11.3期の重点課題 省電力型照射装置用のUVインキ

### LED型UVインキ

#### LED型UV印刷の特徴

- 初期導入コストが高額な半面、ランニングコストが従来の1/10程度と大幅なコスト削減を実現できる
- 排気システムなど、印刷システム全体の大幅な省エネ、省スペースに貢献
- 波長に赤外線を含まないため、印刷資材や印刷機に対する熱影響を抑制できる

### 省電力型UVインキ

#### 省電力型UV印刷の特徴

- 従来の紫外線発光ランプを1/4以上減らして硬化密着させるため消費電力を7~8割削減
- 初期導入コストが比較的安く、大幅な省エネを実現する

UVインキ市場をさらに拡大する技術として注目

## 11.3期の重点課題 環境対応型インキ

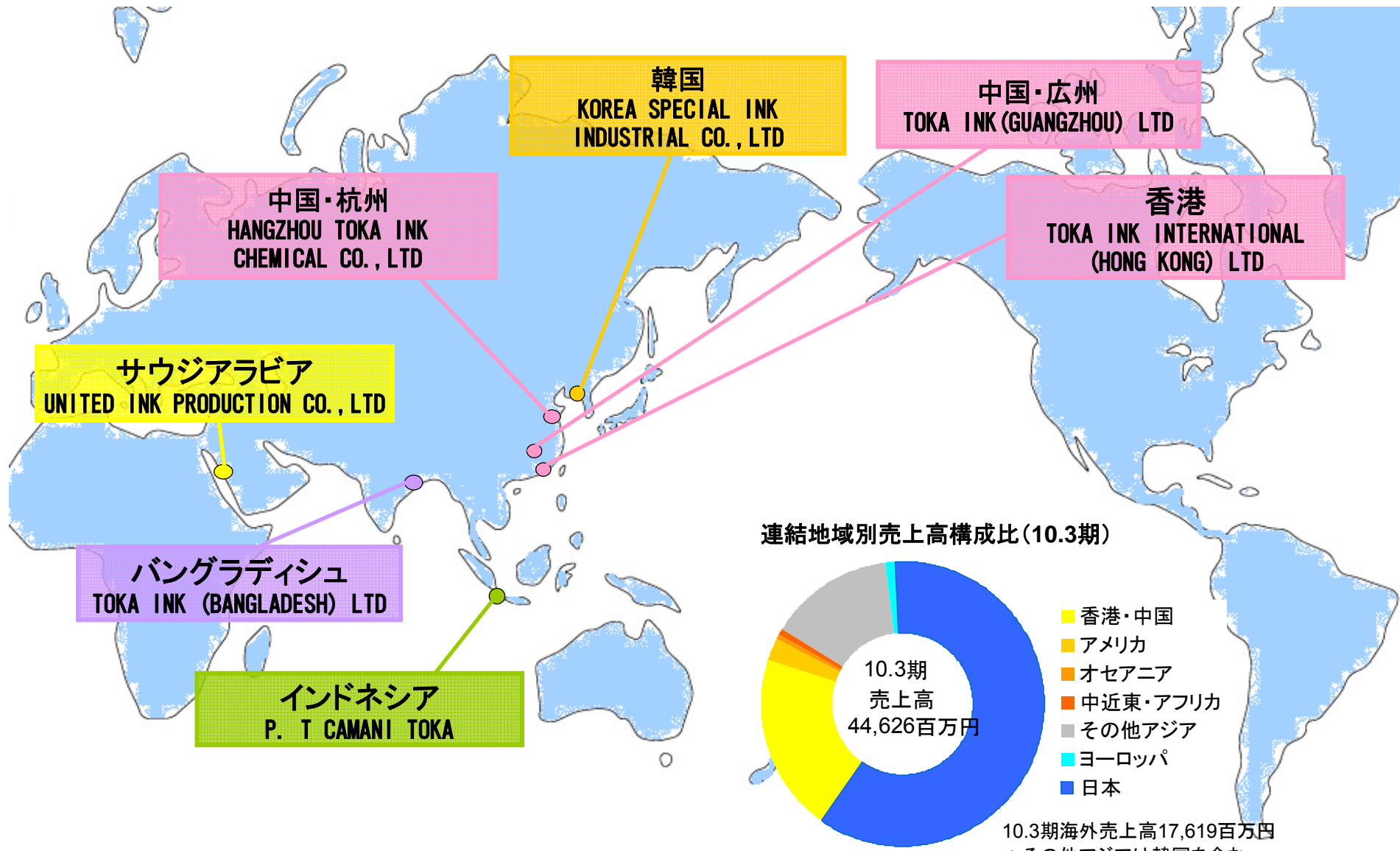
### 水なしインキ

- 版材のトップ・メーカー、印刷機メーカーと共同開発
- 中国の大手印刷会社でも採用され、販売拡大が期待される
- 水なし版用インキ用の高性能樹脂の開発により、品質の優位性を確保
- UVインキに次ぐ特化分野として、「水なしインキのT&K TOKA」を目指す

### ライスインキ

- 地産地消 : 米の産地から大きな反響、ユーザーからライスインキ指定も
- CO2削減 : 米国産大豆油から国産米ぬか油への切り替えでCO2輸送  
マイレージが低減

# 11.3期の重点課題 海外市場へ積極的に展開



## 11.3期の重点課題 特殊UVインキの生産体制の強化

### 増産が続く特殊UVには積極的に投資を実行

- 厳しい技術開発競争に勝ち残る技術者の育成・確保
- 著しい分散技術の進歩に合わせて最新鋭の設備を導入  
当期の設備投資:6.6億円
- 世界最先端製品の開発に注力
- 品質強化のため、積極的に機器と人材を投入

償却増により、利益率は下がるものの、増収効果で増益を確保



～企業理念～

# Technology & Kindness

## 技術とまごころ

時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T&K TOKAは、創業から60数年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は60年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

## ～投資家・株主の皆様へ～

「明 鮮 渋 暗 強 着・・・」無数・無限に求められる色をどの様に表現するか？  
T&K TOKA及びTOKAグループは日々活動しております。目で捉えるだけでなく、  
触れる・嗅ぐ・・・ 色それぞれに多様な機能を盛り込み、新たな価値を創造する。  
TOKAは色んな事に挑戦し続けます。

# ご参考：インキ・印刷の種類と当社の事業領域

インキの種類	インキ及び印刷特性	主な用途	T&K TOKAの事業
平版インキ (オフセットインキ)	もっともポピュラーな印刷方式。水と油が反発し合う性質を利用する。印刷版の印刷インキを転写体(胴)に転移し(オフ)、これを紙に再転移する(セット)。枚葉印刷機と輪転印刷機のうち、輪転印刷機が多く使われる。	ポスター、雑誌、チラシ、カタログなど	UVインキ、一般インキ
樹脂凸版インキ (フレキシソインキ)	ゴム、樹脂などフレキシブルな弾性のある版(凸版)と、液体の印刷インキとを用いる印刷方式。版がやわらかいので、表面がざらざらしていても印刷できる。水性、UVなど環境にやさしい無用剤型インキで印刷される。	紙袋・ダンボール箱、包装紙など	UVインキ、一般インキ
グラビアインキ	印刷版のくぼんだ画線部に残っているインキを紙などに転移させる凹版印刷方式。インキの膜厚で階調を調整するため、無段階でなめらかな階調再現が可能。品質が高い写真の表現ができる一方、コストがかかる。	化粧合板、通販カタログ、携帯電話、菓子の袋など	一般インキ
スクリーンインキ (孔版インキ)	画線部に孔を開けた版(スクリーン)を通して、紙などにインキを転写する印刷方式。大面積や局面への印刷、紙以外の様な媒体への印刷が可能。プリントゴッコはこの印刷方式。	車のパネル、携帯電話、看板、CD、DVDなど	UVインキ
金属印刷用インキ	アルミニウム板、ステンレス板、ブリキ板などの金属の表面に絵柄を印刷する。印刷は各種印刷方式で印刷される。印刷後は乾燥・焼付けするが、同工程が不要のインキも開発されている。	食缶、飲料缶、美術缶など	UVインキ、一般インキ
特殊機能インキ	インキの化学特性や印刷方法を活かし、電子材料を中心とした、さまざまな特殊用途向け。	FPD、電子基盤など	UVインキ
新聞インキ	新聞用のインキ。欧州では環境対応で水なしインキが使われ始める。	新聞紙	海外のみ

# ご参考：当社のUVインキの用途

印刷対象	分野	用途
紙	食品	飲料容器(牛乳・清涼飲料・酒等紙パック)、菓子外箱、冷凍食品外箱
	医薬・化粧品	医薬品外箱、化粧品箱
	一般外箱	玩具・洗剤・煙草などの外箱、贈答品用化粧外箱、DVDボックス、家電製品外箱
	出版・商業	雑誌類表紙、絵本、ポスター、チラシ
	その他	トレーディングカード、取扱説明書、カレンダー、グリーティングカード
プラスチック	食品	カップ(麺類・乳製品・デザート類)、ペットボトルのキャップ、チューブ(わさび・辛子・生姜など)
	医薬・化粧品	チューブ(歯磨き・ハンドクリームなど)、ボトル(シャンプー・洗顔料など)
	カード	プリペイドカード全般(交通機関、電話、パチンコなど)、診察券、会員カード類、トランプ類、IDカード、免許証
	その他	パソコン等キーボード、CD・DVD、玩具、クリアファイル、文具・事務用品
シール	粘着シール	シール・ステッカー全般(食品ラベル、自賠責ステッカー、乾電池ラベルなど)
	シュリンクラベル	清涼飲料ラベル(ガラスボトル、PETボトルなど)
	インモールラベル	シャンプー、洗剤など
帳票・証券	帳票全般	領収書・納品書等の一般伝票、宅配便伝票、電話・ガス・水道・電気等の検針票・請求書、金融関係の帳票類(CD機利用明細・通帳など)、生保・損保関係の証券・契約申込書など、各種マークシート(解答用紙・国勢調査票・JRA投票用紙)
	金券等	株券、小切手、切符、商品券、通行券、入場券、勝馬投票権、舟券、宝くじ、搭乗券など
金属缶	食品	飲料缶・食缶・美術缶
	その他	ネームプレート・缶バッジ

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

IRの問合せ先  
株式会社 T&K TOKA 財務部  
Tel. 03-3963-0511

T&K TOKA®